



「未来への一步」

副校長 湊 映子

暖かい日も増えてきたこの時期、春が近づいていることを感じます。いよいよ今年度の最後の1か月となりました。これまでの子供たちの様子を見て、成長を感じることがたくさんあります。次の学年へのステップとして、できることを増やしていきましょう。一日一日を12年間積み重ねて、立派に社会へ巣立つことを何より願っています。高等部3年生は全ての学びを終えて学校を卒業することになります。これからも学ぶ意欲をもち続け、進んでいってほしいと思います。みなさんの未来が希望に満ちたものになりますように。

小学部より（1年担任 西畑 由美子）

小学部1年生は、生活単元学習で「おおきなかぶ」の劇遊びを行ってきました。おじいさん、まご、いぬ、ねずみの役になり、授業の中で行ってきた運動や楽器演奏、ダンスなどを盛り込んだ劇です。授業参観日に多目的室3で発表しました。御家庭の方が目の前で応援して下さることで、恥ずかしくなってしまうかなという担任たちの心配をよそに、堂々と発表している姿を見て、4月からの成長を感じました。学年みんなで一つのものを作り上げる楽しさを経験できました。全員に温かい眼差しで拍手をいただき、すてきな時間となりました。



中学部より（3年担任 小杉 玉紀）

中学部3年生は、2月6日（金）に、校外学習で東京スカイツリーとすみだ水族館に行ってきました。事前学習ではスカイツリーの模型を作成し、日本一高い建物をイメージして当日を迎えました。晴天にも恵まれ、良い景色を見ることができてガラス床の上に立つとその高さを体感することもできました。すみだ水族館では、薄暗い館内の中でライトアップされた水槽で泳ぐクラゲやひょっこりと顔を出すチンアナゴの様子に生徒たちにも笑顔が溢れていました。今回の校外学習では、混雑の中での見学や買い物をしたり、交通機関での公共マナーやルールを守ったりと、緊張が続く中で安全に楽しむことができ、成長を大きく感じる校外学習となりました。



高等部より（学部主任 半田 利和）

高等部3年生は、2月13日（金）校外学習に行きました。東中野駅から水道橋駅までJRで行き、東京都水道歴史館で学習し、東京ドームシティに行きました。クラスごとに事前に調べたレストランでランチやデザートを楽しみ、アトラクションに乗って盛り上がりました。卒業を控え、学級や学年の友達と楽しい思い出を作ることができました。



しいの木分教室より（生活指導部 田中 耐良）

しいの木分教室では、教員を対象に防災教室を実施しました。今回はNPO法人ゆかいな仲間たちの理事長白尾克伸様とスタッフの皆様が来校し、「近年の災害・能登半島地震」「避難所の開設を考える」というテーマで御講演いただきました。災害や避難所についての知識を学ぶだけでなく、分教室の体育館を実際に避難所として開設したら…、という想定で、教員同士で協議しながら居住空間や資機材のレイアウト等を検討しました。有事の際に、児童・生徒を災害から守り、地域とも協力していけるよう、日頃から備えてまいります。



体育館の図面にテント等の資機材カードを並べて避難所のレイアウトについて検討しました。